

一戸町教育振興運動推進協議会 鳥越小学校実践区

- 「テーマ」
- 震災を超えて・新たな教育課題への取組
組織の見直し・地域コミュニティ再生の取組
 - PDCAサイクルによる推進の取組
年間を通じた全県共通課題・モデルプログラムの取組
 - 地域ぐるみによる「いわての復興教育」の取組
防災教育・被災地支援交流・地域を担う人材育成の取組

活動の様子



『5者連携による読書活動の推進』

～子どもの読書活動を支える取組～

1 地域の教育課題

近年、テレビ・ゲーム等をはじめとするメディアの台頭及び遊具等の発達により、子ども達の興味関心も多様化している。そのため、子ども達が読書する時間を確保することが難しくなっている。また、読書の楽しさや素晴らしさに気付く機会も減少し、「読書離れ」の傾向にあると考えられる。

＜課題の裏付けデータ＞

1日の読書時間30分以下の児童の割合 79%
(平成23年度県学習定着度状況調査)

2 役割分担と年間の計画

○課題解決のためのそれぞれの役割

＜子ども＞

- ・目標読書冊数の取組
- ・読書活動の推進(全校朝読書・図書祭り)

＜保護者＞

- ・家庭読書(親子読書)の取組
- ・親子読書感想文の取組

＜先生＞

- ・多様な読書生活の支援
- ・読書及び読書感想文指導

＜地域＞

- ・読書ボランティア活動
- ・読書環境の整備

＜行政＞

- ・学校図書整備への支援
- ・学校図書の充実

○課題解決のための年間の取組

- ・全校朝読書の実施(毎週月曜日)
- ・図書祭りの開催(多読賞表彰・感想文紹介)
- ・親子読書の取組(長期休業中)
- ・親子読書感想文の取組(長期休業中)
- ・読書感想文集の作成
- ・計画的な読書指導
- ・読書ボランティアの読み聞かせ(毎週木曜日)
- ・移動図書による定期的な配本
- ・学校図書への支援

3 取組の様子

○朝読書

朝15分間ではあるが、学級毎に継続して読書活動に取り組んでいる。

○図書祭り

児童図書委員会の企画運営により、各学級代表による読書感想文の紹介、図書委員による読み聞かせ、読書クイズ、多読賞の表彰などの活動をとおして、児童の読書への関心を高めるとともに、読書活動の幅を広げる機会となった。

○読書ボランティアの読み聞かせ

本年度よりボランティアが4名となり、一定期間同じ学級で意図をもって読み聞かせを行っている。読書ボランティア研修にも参加するなど、読み聞かせ技術の向上にも努めて頂いているため、児童は熱心に聞いている。

○親子読書感想文の取組

長期休業の期間を利用して、親子で同じ図書の読書を行い、お互いが感じたことや子どもの感想について親からコメントをつけて頂いている。また、作成した読書感想文を年度末に文集として発行する予定としている。

○学校図書への支援

図書室へPCを設置して頂き、図書の貸出・返却や図書管理などのシステム化を進めて頂いた。また、町図書館と連携して蔵書確認や移動図書を活用しての貸出等、児童のニーズに応じた読書活動の充実が図られた。

4 課題解決を判断する評価の方法

○児童アンケート調査

県学習定着度状況調査質問紙調査によるアンケートの分析

○保護者アンケート調査

保護者に対しての「まなびフェスト」アンケートの分析

○読書ボランティアによる評価

読み聞かせ実施後、ボランティアさんから実施の感想を含め、児童の状況について評価して頂く。